

## 令和3年度 事業報告書

(自) 令和3年4月 1日 (至) 令和4年3月31日

### 1 法人の概要

主たる事務所の所在地 新潟市西区みずぎ野1丁目6番11号	電話番号 025 (211) 8660	代表者氏名 佐藤 隆
法人許可年月日 昭和50年8月29日	法人許可番号 厚生省社第800号	設立登記年月日 昭和50年9月30日

### 2 法人の行う事業

※職員数は令和4年3月1日現在

事業名	拠点名	実施サービス名	代表役職・名	職員数
社会福祉事業	本部		本部長 海老郁夫	職員13名
	障害者支援施設 新潟みずほ園	施設入所支援50名 生活介護60名 短期入所・日中一時支援3名	施設長 田中 順	職員41名 嘱託医1名
	障害者支援施設 みのり園	施設入所支援50名 生活介護60名 短期入所・日中一時支援4名	施設長 渡邊晴美	職員41名 嘱託医1名
	障害者支援施設 第2みずほ園	施設入所支援50名 生活介護60名、 短期入所・日中一時支援3名	施設長 瀧澤千代美	職員43名 嘱託医1名
	工房はたや	就労支援事業B型20名 生活介護10名 日中一時支援2名	所長 田中敦子	職員8名
	わぁ〜らく	指定特定計画相談支援 指定障がい児相談支援 新潟市委託相談支援	管理者 本井ひろみ	職員6名
	檜の木	もみじ 4名 あじさい5名 CHみずぎ野壱番館7名 CHみずぎ野弐番館5名 さくら壱番館6名 さくら弐番館6名 さくら参番館6名	管理者 多賀邦夫	職員30名
	みっと	居宅介護、同行援護、行動援護 新潟市移動支援	管理者 本井ひろみ	職員3名
	おおらい	生活介護20名 日中一時支援3名	管理者 小西幸弘	職員6名 嘱託医1名

### 3 評議員・役員等の状況

役職名	氏名	現就任年月日	備考
評議員	村山六郎	令和3年6月24日	
評議員	真島福一	令和3年6月24日	
評議員	大嶋喜芳	令和3年6月24日	
評議員	小林建	令和3年6月24日	
評議員	長井正雄	令和3年6月24日	
評議員	吉田和弘	令和3年6月24日	
評議員	田中滋世	令和3年6月24日	
理事	佐藤隆	令和3年6月24日	理事長
理事	和田晋弥	令和3年6月24日	
理事	野澤慎吾	令和3年6月24日	
理事	海老郁夫	令和3年6月24日	常務理事
理事	多賀邦夫	令和3年6月24日	
理事	田中順	令和3年6月24日	
監事	小柴昭彦	令和3年6月24日	
監事	鈴木昭	令和3年6月24日	

## 4 事業概要

当法人は、障害者支援施設「新潟みずほ園」、「みのり園」、「第2みずほ園」、就労継続支援・生活介護「工房はたや」、共同生活援助「檜の木」、相談支援「わあ〜らく」、居宅介護・移動支援「みっと」、生活介護「おおい」で、在宅障がい児者の短期入所及び日中一時支援を経営し、障がい者福祉の増進に寄与してきた。

令和3年度における主な業務の実施状況は、次のとおりである。

### 〔新潟みずほ福祉会〕

- 1 理事会を6回（内2回は決議の省略）、評議員会を2回（内1回は決議の省略）開催した。（資料参照）
- 2 工房はたやにおける自立訓練を廃止し生活介護（定員10名）を行う多機能型事業所とした。
- 3 新型コロナウイルス感染症対策として、希望する利用者・職員に3回のワクチン接種を行った。また、抗原検査キットの活用や県、市から発出される内容に沿って対応の強化、緩和を行った。
- 4 新潟みずほ園、みのり園創設工事にかかる設計監理業務に係る入札（公募型プロポーザル）を行った。
- 5 GHもみじ、あじさい創設工事の施設整備費補助金の交付決定を受け、施工業者の一般競争入札を行った。
- 6 本部事務員を中心にテレワーク勤務の実践、定着を図った。
- 7 利用者の健康管理のため、嘱託医等による健診を実施した。
- 8 職員の健康診断を健康医学予防協会により実施した。（直接支援職員は年2回）
- 9 日本歯科大学新潟病院の協力を得て、新潟みずほ園、みのり園及び第2みずほ園の利用者の歯科検診と診療を実施した。
- 10 働き方改革や新型コロナウイルスに対応するため、その都度、就業規則や規程等の一部見直しを行った。
- 11 引き続き川原経営総合センターと契約し、人事評価制度の見直しを行った。
- 12 地域における公益的取組
  - ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
  - ・にいがたセーフティネット事業
- 13 社会貢献活動
  - ・講師派遣（行政、社会福祉協議会、各種福祉機関研修）
  - ・行政、地域福祉団体等の委員就任
  - ・施設開放、地域行事協賛等
- 14 利用者家族等から寄付金を受けた。
- 15 本年度の苦情申し立てはありませんでした。

## 5 理事会・評議員会開催状況

### (1) 理事会

日時及び場所	審議事項
令和3年6月9日 10:00～11:30 総合支援センター	1 令和2年度事業報告 2 令和2年度決算書類 3 理事監事候補者推薦書 4 評議員選任・解任委員の選任 5 令和3年度第1次補正予算 6 運営規定の一部改正 7 施設建て替えにかかる設計入札 8 評議員会の招集
令和3年6月24日 14:30～14:50 総合支援センター	1 理事長の選定 2 常務理事の選定
令和3年9月24日 (決議の省略:決議があったとみなされた日)	1 就業規則の一部改正 2 わあ〜らく運営規程の一部改正 3 令和3年度第2回評議員会の招集
令和3年12月14日 9:30～10:30 総合支援センター	1 就業規則の一部改正 2 給与規程の一部改正 3 パート職員就業規則の全部改正 4 令和3年度第2次補正予算
令和4年1月10日 (決議の省略:決議があったとみなされた日)	1 もみじ、あじさい建て替えにかかる事業計画 2 もみじ、あじさい建て替えにかかる入札
令和4年3月18日 13:30～14:45 総合支援センター	1 令和3年度第3次補正予算 2 令和4年度事業計画 3 令和4年度収支予算 4 就業規則の一部改正 5 給与規程の一部改正 6 運営規程の一部改正 7 継続雇用職員契約取扱要領の全部改正

(2) 評 議 員 会

日時及び場所	審 議 事 項
令和3年6月24日 13:20～13:45 総合支援センター	1 令和3年度計算書類の承認 2 新役員の選任
令和3年10月4日 (決議の省略:決議があ ったとみなされた日)	1 就業規則の一部改正 2 わあ〜らく運営規程の一部改正

## 【新潟みずほ園】

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分 6～40 名・区分 5～9 名 区分 4～2 平均区分：5.7  
利用率：施設入所支援100.8%・生活介護93.0%・短期入所63.1%
- 2 利用者の動向  
退所2名（死亡1名、医療1名）、入所2名  
利用者の年齢は平均60歳8ヶ月（男性61歳2ヶ月、女性60歳2ヶ月）  
最年少33歳、最年長84歳で、65歳以上の方は21名となっている。
- 3 令和3年度の取り組み
  - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
  - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
  - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
  - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
  - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
  - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
  - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
  - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。
  - (1) ICT導入 3入所施設合計 9,152,000円  
(インカム、iPhone、ケアパレット、Wi-fi環境整備等)
  - (2) 電気室コンデンサ交換 275,000円
  - (3) 電気室トランス・コンデンサ撤去処分 462,000円  
(PCB廃棄物の処分期間が迫っているため)
  - (4) 電動昇降ストレッチャーバッテリー交換 188,023円
  - (5) 浄化槽用ポンプ取替工事 762,300円  
(経年劣化のため)
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
  - (1) 短期入所・日中一時支援等受け入れ状況
    - ① 短期入所 延べ 685名
    - ② 日中一時支援 延べ 1名
  - (2) 災害等特例入所者 延べ 365名
  - (3) 実習生受け入れ中止 0名 延べ 0日（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (4) ボランティア受け入れ状況 延べ 0名
  - (5) 地域行事への参加、地域学校との交流中止（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (6) 職員の講師派遣中止（新型コロナウイルス感染症予防のため）
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。（新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更があった）
- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
  - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
  - (2) 利用者への面会は、指定された場所で30分以内に限定した。
  - (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。

- (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。
- (5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
- (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけた。
- (7) 抗原検査キットの活用や県、市から発出される内容に沿って対応の強化、緩和を行った。

#### 事業概要

##### 1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和2.7月	県身協オセロ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
8.19	夕 涼 み 会	園 内 園 前 庭	利用者、職員	73
9月	みずほ福祉会まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.16	忘 年 会	園 内	利用者、職員	73
令和3.1.20	新 年 会	園 内	利用者、職員	73

##### 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
令和2.5月 ～11月	胸部X線間接撮影	信楽園あかつか診療所	利用者	51名	信楽園あかつか診療所他
4月～6月	職員定期健康診断	健康医学予防協会	職 員	43	健康医学予防協会
9.1	生活習慣病予防検診	園 内	利用者	51	嘱託医
10月	歯 科 検 診	新型コロナウイルス感染症予防のため中止			
5.27 10.19	内 科 検 診	園 内	利用者	49 51	嘱託医
11.16	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職 員	51 42	嘱託医
12.8	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職 員	26	健康医学予防協会
5.29 6.19 1.22	コロナワクチン接種① コロナワクチン接種② コロナワクチン接種③	園 内	65歳以上の 利用者	22	嘱託医
7月下旬 8月中旬 2月下～3月上	コロナワクチン接種① コロナワクチン接種② コロナワクチン接種③	園 内	65歳未満 の利用者 職 員	28 42	嘱託医

### 3 防災訓練等の実施状況

#### (1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和3.5.26 10:30～	夜間想定避難訓練	20分00秒	職員 5名	第一避難場所
9.29 10:10～	水害避難訓練	20分00秒	職員 9	地域交流 ホーム1階
12.1 10:15～	日中想定避難訓練	17分36秒	利用者 39 職員 11	居住棟奥
令和4.2.9 10:25～	地震想定訓練	14分40秒	利用者 38 職員 10	ふれあい ルーム

#### (2) 緊急連絡網による通報訓練（火災メールシステム）

実施日時	所要時間	備考
令和3.6.9 13:30～	17時間以内の返信者 36名	事前連絡あり
12.18 15:00～	17時間以内の返信者 27名	事前連絡なし
令和4.1.17 15:00～	17時間以内の返信者 30名	事前連絡なし

#### (3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和3.4.19 15:30～	防災研修	職員 4名	消防設備説明
7.14 10:30～	消火器訓練	職員 8名	
8.16 15:00～	放水訓練	職員 2名	
10.21 14:30～	防災研修	職員 2名	消防設備説明
令和3.1.26 14:30～	防災研修	職員 5名	動画視聴

## [みのり園]

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分6～33名、区分5～15名、区分4～2名 平均区分：5.6  
利用率：施設入所支援 96.3%・生活介護 94.9%・短期入所 101.4%
- 2 利用者の動向  
退所：1名（死亡） 入所：1名  
利用者の年齢は平均 51歳 10か月（男性 48歳 11か月、女性 53歳 1ヶ月）  
最年少 20歳 7ヶ月、最年長 82歳 11ヶ月で、65歳以上の方は13名となっている。
- 3 令和3年度の取り組み
  - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
  - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
  - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
  - (5) 施設生活に潤いと変化を与えるため、各種の行事を実施した。
  - (6) 日中活動として、歩行、運動、アルミ缶プレス、農園芸、創作活動を実施した。
  - (7) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
  - (8) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
  - (9) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束の軽減、行動制限廃止に努めた。
  - (10) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。
  - (1) ICT 導入 3 入所施設合計 9,152,000 円  
(インカム、iPhone、ケアパレット、Wi-fi環境整備等)
  - (2) キュービクル改修（停電時に自動で発電機運転） 484,000 円
  - (3) 低床ベッド3台導入 1,181,400 円（5年リース）
  - (4) 厨房包丁まな板 UV 殺菌庫（真柄財団より助成） 232,100 円
  - (5) 男女性棟洗濯機・乾燥機 入替 267,531 円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
  - (1) 短期入所・日中一時支援の受け入れ状況
    - ① 短期入所 延べ 1,481名
    - ② 日中一時支援 延べ 239名
  - (2) 実習生の受入れ状況 0名（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (3) ボランティアの受入れ状況 39名（理美容のみ）
  - (4) 地域行事への参加、地域学校との交流中止（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (5) 職員の講師派遣（県主催の研修） 1名
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識技能の習得に努めた。（新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更があった）
- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
  - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
  - (2) 利用者への面会は、指定された場所で30分以内に限定した。
  - (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。
  - (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。
  - (5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載を

- お願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
- (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけた。
- (7) 抗原検査キットの活用や県、市から発出される内容に沿って対応の強化、緩和を行った。

## 事業概要

### 1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和3.4月	お 花 見	屋 外	利用者、職員	60
6月	レクリエーション 交 流 会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
9.30	みのり園まつり	園 内	利用者、職員	70
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.24	クリスマス忘年会	園 内	利用者、職員	67
令和4.1.15	新 年 会	園 内	利用者、職員	62
2.3	節 分	園 内	利用者、職員	63

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

### 2 検診等の実施状況

実施日	検診内	場 所	対象者	人数	検診機関
令和3.5.6	利用者健康診断 胸部X線間接撮影	園 内	利 用 者	48	健康医学予防協会
5.19	職員定期健康診断	第2みずほ園 健康医学予防協会	職 員	39	健康医学予防協会
8.20	前立腺がん検診	園 内	利 用 者	3	嘱託医
8.20	大腸がん検診	園 内	利 用 者	37	嘱託医
7.27	内 科 検 診	園 内	利 用 者	47	嘱託医
11.18	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利 用 者 職 員	48 32	嘱託医
12.8	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職 員	28	健康医学予防協会
12.7	内 科 検 診	園 内	利 用 者	49	嘱託医
5.29~9.23	コロナワクチン接種 1回目	園 内	利用者 職 員	50 35	嘱託医
6.19~9.24	コロナワクチン接種 2回目	園 内	利用者 職 員	50 35	嘱託医

令和4.2.10～	コロナワクチン接種 3回目	園 内	利用者 職員	50 36	嘱託医
-----------	------------------	-----	-----------	----------	-----

### 3 防災訓練等の実施状況

#### (1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者および人数	避難場所
令和3.5.13 10:30～	夜間火災想定避難訓練	6分55秒	利用者47名・職員4名	体育館(模擬)
9.27 14:30～	水害避難訓練	9分44秒	利用者45名・職員6名	体育館(模擬)
11.28 10:30～	三園合同避難訓練 (日中火災想定)	13分28秒	利用者46名・職員4名	体育館(模擬)
令和4.2.22 10:30～	地震避難訓練	5分40秒	利用者47名・職員6名	各居室(模擬)
3.20 15:00～	日中火災想定 避難訓練	9分36秒	利用者44・職員4名	体育館(模擬)

#### (2) 火災通報装置・火災一斉メールによる通報訓練

実施日時	所要時間	備考
令和3.6.10 13:00～	17時間以内返信者41名	事前連絡あり
12.9 15:00～	17時間以内返信者9名	事前連絡なし

#### (3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和3.4.21 09:00～	防災研修	職員3名	防災機器取扱説明
7.20 13:30～	消火器訓練	職員5名	
9.11 15:00～	放水訓練	職員2名	
10.20 14:30～	防災研修	職員3名	防災基本事項説明
令和4.3.16 12:00～	非常食体験会	利用者56名	

#### 備考

・本年度も新型コロナウイルス感染対策のため、利用者の避難訓練は控えてもらい職員のための訓練とした。

## [ 第2みずほ園 ]

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分6～40名・区分5～4名・区分4～7名 平均区分：5.6  
利用率：施設入所支援 98.8%・生活介護 87.9%・短期入所 90.6%
- 2 利用者の動向  
退所7名(医療機関3名 死亡3名 在宅1名)、入所 6名  
利用者の年齢は平均56歳1ヶ月(男性56歳10ヶ月、女性55歳4ヶ月)  
最年少21歳9ヶ月、最年長は75歳5ヶ月、65歳以上は13名となっている。
- 3 令和3年度の取り組み
  - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
  - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
  - (4) 栄養ケア計画に基づき、食の安全、嗜好、季節感に配慮し、食生活の充実に努めた。
  - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
  - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
  - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
  - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
  - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 居室エアコン入替(7台)5年リース	910,800円
(2) 高圧機中開閉器取替他工事	1,808,400円
(3) 非常通報装置取替	627,000円
(4) 浄化槽ブロワー取替	506,000円
(5) 発電機蓄電池交換	655,200円
(6) ICT導入	3入所施設合計 9,152,000円

(インカム、iPhone、ケアパレット、Wi-fi環境整備等)
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
  - (1) 短期入所・日中一時支援受け入れ状況
    - ① 短期入所 延べ 992名
    - ② 日中一時支援 延べ 0名
  - (2) 実習生受け入れ状況 0名 延べ 0名 (新型コロナウイルス感染症予防のため)
  - (3) ボランティア受け入れ状況 0名 延べ 0名 (新型コロナウイルス感染症予防のため)
  - (4) 地域行事への参加、地域保育園・学校との交流中止(新型コロナウイルス感染症予防のため)
  - (5) 職員の講師派遣中止(新型コロナウイルス感染症予防のためWebでの交流を行う)
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。(新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更があった)
- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
  - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
  - (2) 利用者への面会は、指定された場所で30分以内に限定した。
  - (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。

- (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。
- (5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
- (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけた。

#### 事業概要

##### 1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和3.7月	県身協オセロ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
8.5	納涼メニュー	園 内	利用者	52
9月	みずほ福祉会まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.16	忘 年 会	園 内	利用者、職員	69
令和3年1.20	新 年 会	園 内	利用者、職員	65

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

##### 2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
令和3.8月 ～9月	胸部X線間接撮影	信楽園あかつ か診療所	利 用 者	46名	信楽園あかつか診 療所他
4月～6月	職員定期健康診断	健康医学予防協会	職 員	43	健康医学予防協会
5.11～12	生活習慣病予防検診	園 内	利 用 者	46	嘱託医
10月	歯 科 検 診	新型コロナウイルス感染症予防のため中止			
6.16 12.15	内 科 検 診	園 内	利 用 者	48 50	嘱託医
11.12	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利 用 者 職 員	50 36	嘱託医
12.8	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職 員	26	健康医学予防協会
5.29 6.19 1.22	コロナワクチン接種① コロナワクチン接種② コロナワクチン接種③	園 内	65歳以上 の利用者	16	嘱託医
7月下旬 8月中旬 2月下～3月	コロナワクチン接種① コロナワクチン接種② コロナワクチン接種③	園 内	65歳未満 の利用者 職 員	34 34	嘱託医

### 3 防災訓練等の実施状況

#### (1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和3.5.23 10:00～	避難訓練 (夜間想定)	12分16秒	利用者・職員51名	第一避難場所
11.24 14:00～	避難訓練 (夜間想定)	12分38秒	利用者・職員47名	第一避難場所
令和4.2.23 14:00～	避難訓練	6分51秒	利用者・職員41名	第一避難場所

#### (2) 緊急連絡網による通報訓練(火災メールシステム)

実施日時	所要時間	備考
令和3.6.10 10:00～	指定時間以内の返信者 33名	事前連絡有
12.9 14:30～	指定時間以内の返信者 32名	ホットライン使用 事前連絡有

#### (3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和3.4月	防災研修	職員 3名	消防設備説明
5月	防災研修	職員 1名	消防設備説明
7.21 9:30～	消化器訓練 (水消火器)	職員 5名	
10月	防災研修	職員 2名	消防設備説明
10.20 10:00～	防災研修	職員 12名	非常食提供
令和4.1.19 14:00～	防災研修	利用者・職員 12名	DVD上映

## [ 工房はたや ]

- 1 多機能型事業所[就労継続支援B型、生活介護事業]として、適正な事業運営に努めた。
- 2 利用者の動向  
男性1名退所、男性2名が利用を開始。  
通所利用登録者28名（男性14名、女性14名）※新潟市27名 燕市1名  
登録利用者の平均年齢は37.9歳、最年少19歳 最年長69歳となっている。
- 3 令和3年度の取り組み
  - (1) 生活介護事業を令和3年4月1日より開始した。
  - (2) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (3) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
  - (4) 授産作業として、養生シート洗浄作業・配管キャップ洗浄作業・タオル包装・封入・委託作業（新潟県・新潟市）を実施した。
  - (5) 法人入所施設にて委託作業（除草、清掃などの環境整備）を実施した。
  - (6) 近隣農園での農作業・福祉の店パレット販売業務の施設外就労を実施した。
  - (7) 事業所内共通行事は、8月納涼会、12月忘年会、1月新年会、11月～2月グループ外出を実施した。
  - (8) 生活介護行事は、4月花見、7月七夕、10月ハロウィン、12月クリスマス、2月節分、3月ひな祭りを実施した。
  - (9) 避難訓練は11月と3月に実施した。
- 4 地域の社会資源として次のことを行った。

地域イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となる。  
また、地域への美化活動として、ごみ拾い、除草を行った。

  - (1) 日中一時支援受け入れ状況 0名 延べ0日
  - (2) 実習生の受け入れ状況 延べ0名（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (3) ボランティア受け入れ状況 延べ0名（新型コロナウイルス感染症予防のため）
- 5 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議へは参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。（新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更があった）
- 6 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
  - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
  - (2) 利用者には毎日の体温チェック、手指消毒を徹底し、事業所内は常時換気、仕切り板の設置、食事は場所を分散し時間差で摂取した。
  - (3) 来所者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
  - (4) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけた。

[ 障がい者(児)生活支援センターわぁ〜らく ]

1 指定特定相談支援事業、指定障がい児相談支援事業

(1) サービス等利用計画およびモニタリング作成実績 (単位/件)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	計
者	計画		24	12	29	16	14	21	18	14	17	7	9	18	199	722
	モニタリング		58	60	43	36	42	48	45	57	42	56	26	10	523	
児	計画		6	4	3	3	4	6	5	3	3	5	3	3	48	115
	モニタリング		6	11	11	3	4	9	4	8	5	4	2	0	67	

※特定事業所加算対象

計画相談契約者数：340名（内、児童19名）※令和4年3月末日現在

内、新規契約者：11名（内、児童1名）

(2) 基本相談含む相談および支援等実績（延件数）：年間3、554件（内、児童743件）

2 指定一般相談支援事業

実績：地域移行 0件（退院）、地域定着 0件

3 市町村事業受託

(1) 新潟市障がい者基幹相談支援センター（平成30年度より、代表法人として受託）

新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアムの構成法人として協定を結び、相談員1名、障がい児支援コーディネーター1名、事務員兼相談補助1名出向。

※新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアム構成法人

社会福祉法人 自立生活福祉会、社会福祉法人 新潟しなの福祉会

社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

(2) 障害支援区分認定調査

新潟市（令和3年4月1日～令和4年3月31日、実績なし）

他 燕市、魚沼市（実績2件）

4 地域での啓発活動

地域生活支援ネットワーク形成

新潟市地域自立支援協議会、新潟市西蒲区地域自立支援協議会、西蒲区地域福祉計画・西蒲区地域福祉活動計画推進委員会等に参画し、ネットワーク形成に尽力した。

### 〔樞の木〕

- 1 共同生活援助事業として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分6～6名、区分5～3名、区分4～7名、区分3～10名  
区分2～8名、区分1以下～4名 平均区分：3.2  
利用率：95.7%
- 2 利用者の動向  
退所 3名 入所 3名  
利用者の年齢は平均49.2歳（男性39.5歳、女性55.5歳）  
最年少は19歳、最年長は72歳で、65歳以上の方は7名となっている。
- 3 令和3年度の取り組み
  - (1) 「もみじ」（定員4名）、「あじさい」（定員5名）、「ケアホームみずき野壺番館」（定員7名）、「ケアホームみずき野式番館」（定員5名）、「さくら壺番館」（定員6名）、「さくら式番館」（定員6名）「さくら参番館」（定員6名）のニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) 支援にあたっては、家庭的な雰囲気を大切に、入居者の誕生日や季節の行事などを実施した。また、生活全般においては可能な限りご自分でできるように助言、支援に努めた。
  - (3) 利用者の、毎日の健康チェック、定期通院や緊急時の通院、治療等、バックアップ施設や日中活動先の事業所と連携し健康管理に努めた。  
夏季期間（7月～9月）は衛生面・水分摂取を考慮し、全ホームへ麦茶ペットボトルを定期購入し配分した。
  - (4) 防災対策として、ホームごとに避難訓練を実施した。
  - (5) 令和3年度社会福祉等施設整備費補助金の交付決定を受け、もみじ、あじさい創設工事入札を行った。
  - (6) 新型コロナウイルス感染防止対策
    - ① 噴霧器、除菌電解水給水器等の設置、補助金を活用しマスク、グローブ、エプロン、アルコール消毒剤等整備した。
    - ② 利用者の外出・外泊は、自粛をお願いした。
    - ③ 来客者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。
    - ④ 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけ、やむを得ず出かける場合は、事前に許可を得て、帰宅後一週間は健康観察のため自宅待機とした。
    - ⑤ 職員及び利用者に新型コロナウイルス陽性者が発生したが、新型コロナウイルスまん延防止マニュアルに沿った支援を行い感染拡大防止に努めた。

- 4 利用者の住環境整備のため以下の事業を実施した。
  - (1) みずき野老番館に真柄財団施設整備助成金で除雪機を設置した。
- 5 行事等の実施
  - (1)地域との交流行事は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

## 【みっと】

### 1 活動内容

- (1) 利用者（児）が居宅において自立した日常生活を営むことができるように支援した。
- (2) 地域や家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携に努めた。
- (3) 利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援を提供した。

### 2 活動報告

#### (1) 居宅介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	14	10	12	13	14	15	11	14	13	10	10	17	153

#### (2) 同行援護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	9	3	4	5	6	3	7	9	9	3	2	5	65

#### (3) 行動援護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	5	5	6	7	7	5	6	7	8	5	4	4	69

#### (4) 移動支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	97	106	119	108	113	112	121	124	125	104	88	106	1,323

#### (5) 福祉有償運送事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	59	51	103	109	103	122	163	137	142	121	119	140	1,369
車両運行時間	30時間20分	29時間10分	49時間15分	56時間25分	55時間15分	60時間30分	76時間50分	71時間20分	69時間40分	60時間50分	56時間25分	52時間25分	668時間25分
運行距離(km)	1,084	1,045	1,704	2,001	1,815	2,031	2,575	2,409	2,283	1,776	1,833	1,998	22,554

## 【おおらい】

- 1 生活介護事業として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分 6～19 名、区分 5～16 名、区分 4～12 名、区分 3～8 名  
平均区分：4.5  
利 用 率：78.9%
  
- 2 利用者の動向  
利用者の年齢は平均 47 歳 6 か月（男性 46 歳 7 か月、女性 48 歳 9 か月）  
最年少は 18 歳、最年長は 83 歳で、65 歳以上の方は 11 名となっている。
  
- 3 令和 3 年度の取り組み
  - (1) 令和 2 年 4 月 1 日、生活介護・日中一時事業所として開設し、利用者の安心・安全に配慮し、ゆったりと過ごせる空間の提供に努めた。
  - (2) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の作成と実践に努めた。
  - (3) 嚥下・咀嚼機能等個々の状態に合わせた形態での食事・おやつを提供した。
  - (4) 身体状況に合わせた 2 種類の浴槽で安心・安全な入浴サービスの提供に努めた。
  - (5) 大型モニターでインターネットを使用した活動やストレッチ体操、リハビリ、レクリエーション活動など楽しみのある活動の提供に努めた。また、利用者に合わせて個別活動や四季の行事等、季節を感じられる活動の提供に努めた。
  - (6) 1 日 2 回（朝・昼）利用者のバイタルチェックを実施した。
  - (7) 新型コロナウイルス感染防止対策として噴霧器、アクリルボード等設置、アルコール消毒剤、顔認証検温システム等整備した。また利用開始、終了時の徹底した清掃・消毒・換気を実施し感染防止対策を強化した。
  - (8) 新型コロナウイルス感染防止対策を施したうえで、緊急事態宣言期間においても事業を休止することなく、在宅障がい者（児）の受け入れを積極的に行った。
  - (9) 予定していた外部のボランティア（ヨガ教室、編み物教室、マジックショー等）については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全て受け入れ中止した。
  - (10) 特別支援学校生徒の職場体験（見学等）の受け入れを実施した。
  - (11) 社会貢献活動（公益的取組）として越後赤塚駅舎の清掃を定期的にも実施した。
  
- 4 職員の資質向上を図るため定期的にオンライン講義を視聴した。